

# 1 令和7年度第3回定例会

日 時： 令和7年8月22日（金）午後2時30分から午後4時00分

場 所： 中央図書館活動室2・3

出席者： （図書館協議会委員）委員6名  
（事務局）図書館長、企画運営担当1主査  
総務担当主査、総務担当

会長 本日は委員1名が欠席となります。多摩市図書館協議会規則第4条により令和7年度多摩市図書館協議会第3回定例会を開催する。

事務局から配布資料の確認をお願いします。

事務局 配布資料は、式次第、資料1の令和6年度多摩市立図書館事業評価、資料2の第二次読書活動振興計画（概要版）・目次・策定スケジュール、第二次多摩市読書活動振興計画原案（案）にある第1章から5章、資料3の市民協働イベント募集状況についてとなる。

会長 議題1、本日の議題に入る。議題1は、令和6年度多摩市立図書館事業評価についてである。

事務局から説明をお願いします。

事務局 前回説明させていただいた内容に修正のあった部分を中心に説明する。マーカー部分が修正部分となる。

基本目標（1）だれもが使える図書館について、マルチメディアデイジーの購入数56点の内訳が子供向け46点、大人向け6点で総数が正しくないのを確認したところ総数52点が正しいので訂正する。

障がい者サービス用については1点、どなたでも借りる事ができるマルチメディアデイジーは、18点貸出されたが、大人向けの貸出はなかったということで実績に記載した。

図書館の自己評価について、①②にあるマルチメディアデイジーの貸出が19点と貸出にあまり繋がっていない点を追記し、今後もバリアフリーの観点から事業の充実に努めるとしている。

④では、図書館で発行している資料を、テキストデイジー化し利用者へ提供する事で、図書館に関連する情報を提供するとともに、読書に親しむ機会を提供する事ができたと評価をして

いる。

図書館協議会の外部評価としては、マルチメディアデジジーは、活字が読みにくい方だけでなく日本語が不得手な外国人にも有益な資料であるため、購入した大人向けのマルチメディアデジジーをさらにPRし多くの人に周知したほうが良いとの意見をいただいた。オーディオブックも障がいがある方や見えにくい方、高齢者等幅広い方に有益な資料であるので同様に一層の充実を図るよう意見をいただいた。

また、利用者懇談会の参加者が少なかった点について、図書館側から当事者が集まる場所に出向いて意見をいただくことも検討してはどうかと提案いただいた。中央図書館においては、車椅子利用者が書架から実際に本を手にとって見受けられるのでバリアフリー対応ができているとの評価をいただいたところである。まとめてとして、前回いただいた意見を記載させていただき、障がい者サービスはおおむね実施できていると評価できるが、引き続き様々な方法で周知を図ることとした。

基本目標（2）子どもへのサービスの充実について、中央図書館で実施した手話や工作を取り入れたおはなし会・テーマに合わせたおはなし会や豊ヶ丘図書館でのイベントを追記する。

ティーンズの新着本について、表紙が見えるように配架し展示した結果、書架の前で立ち止まる姿が増え、新着コーナーが認識されるようになったことを追記した。

図書館の自己評価としては、定例のおはなし会と同様に、おはなしの部屋での開催ではあったが、飾付けやプログラムを工夫して、普段とは違うスペシャルのおはなし会を実施し、楽しんでもらうことができた。また子どもたちに手話という言葉があることも知ってもらい、興味や関心を持ってもらう機会となったとしている。

夏休み等の工作を盛り込んだスペシャルおはなし会では、普段のおはなし会とは違った環境での遊びができ、保護者が絵本や読み聞かせに興味を持っていることを知ることができたとしている。

図書館協議会の外部評価としては、実績報告には、具体的な数値の記載があったほうが評価しやすい。

また、おはなし会ボランティア育成についても講座に参加した受講者が講座後にどのような活動に繋がったのか、実践回数

等が具体的に書かれていると評価しやすいとの意見をいただいた。その他、ふりがながある図書は、外国人日本語学習者にとっても、漢字読解力を高める助けとなる事実を周知したほうがいいとの意見を盛り込んだ。まとめとして、おはなし会ボランティアの養成講座受講者が受講後に既存の団体や図書館で活動していることは、養成講座やフォローアップの効果が出ているので評価に値するとした。各館において子どもへのサービスの充実は実施できていると評価できるが、実績を数値で示すより分かりやすいとした。

基本目標（3）市民や地域に役立つ図書館について、読書活動振興のためのイベント開催となる。

図書館3館と4書店の7地点を対象としたクイズラリー実施を追記した。期間中、80人の参加があり図書館と書店を1か所以上で3カ所以上回った場合にブックカバーが先着で渡すこととしていた。しかし、関戸・永山エリアでは2カ所だったためブックカバーを利用する数が想定を下回ったことも記載した。

最後に図書館協議会の外部評価としては、読書活動振興のためのイベントの開催について、おおむね問題なく実施できていると評価をいただいたところである。協議会からの外部評価について、追加してご意見いただけるような部分があれば、ご意見いただきたい

会長 議題1について、質問・ご意見があればお願いしたい。評価の追加ということも可能ですので、何かありましたら発言いただきたい。

副会長 1点目は、マルチメディアデイジー図書の購入数について、大人向けの6件というのは、6点でよいか。2点目は、「やまぼと通信」等をデイジー化する点について、読み上げ可能な電子書籍を提供されているということか。

企画運営担当 単位を件から点に訂正する。

当主査1 読み上げ可能な電子書籍を提供している。

副会長 実施のなかに読み上げ可能な電子書籍をどれくらい集めて提供したか、また実際にどれくらいの利用があったかをデータ等で分かることよりよいとして自己評価に追加してもよいのではないか。

会長 具体的な件数を出すことは可能なのか。

企画運営担当 読み上げ可能なものは、リフロー型と呼ばれるもので、貸出

- 当主査1 副会長 の割合を出すことができるか確認の必要がある。
- 副会長 図書館3館と4書店で実施したクイズラリーでは、関戸・永山が2カ所だったということからブックカバーを貰う利用者数が下回ってしまったとありますが、上記地域に書店が2カ所しかなかったとうことになるのか。そうであれば、3カ所回ることが目的ではないので地域で2カ所回ればブックカバーを渡すことにしても良かったのではないかと。
- 図書館長 委員 ブックカバーの件については、今後の事業の参考とする。
- 委員 イベントの企画が場当たりの印象を受ける。図書館の活動なので読書に繋がるような企画を立てていただきたい。企画内容が必ずしもそうではないものも見受けられ、決して悪いわけではないが年間計画のなかで偏りがなく万遍な形で企画して欲しい。市民のやりたいことをやるだけでなく図書館独自の考えで実施しても良いと考える。
- 会長 イベントに関しては、市民との協働イベントと図書館独自のイベントがあるので分けて考えたほうがよい。
- 図書館長 委員 イベントは、図書館独自の主催事業とそれにプラスして、市民のやりたいことに対して市民主導で進めていく事業の2本柱で引き続き実施したいと考える。
- 委員 マルチメディアデイジーの件だが、実際にチャレンジしてみて、操作等ハードルが高いと感じた。特に高齢者にとっては操作が難しいので、より分かりやすい案内を作成したり、講習会を実施したりするとハードルが低くなるのではないかと。やってみるととても便利で面白いので、障がいの人だけでなく様々な人が手軽に利用できるような更なる工夫・仕組みができればよいと考える。
- 会長 いただいた意見を図書館協議会の外部評価に追加することとする。
- 委員 イベントについて、いろいろと工夫を凝らして実施しているところであるが、ボードゲームが人気であるという新聞記事について情報提供する。
- 会長 情報提供、ありがとうございます。素晴らしい提案である。協議会からの意見として記載することも可能である。
- 企画運営担当主査1 ボードゲームは所蔵していないが、図書館においても以前ボードゲームを利用者懇談会やパルテノン多摩のプレオープン時の図書館側からのイベントとして取り入れたこともある。図書館を知ってもらおうきっかけの一つになると考える。

図書館長  
委員

今後のイベント企画の参考とさせていただく。

イベント実施を周知するためのチラシについて、小学校では夏休み前に多方面からチラシが届き休み前に配布するが学校側でチラシの内容を確認している。小学生にとっては、開催される場所や費用等が参加の有無に大きく左右されることから、上記を判断基準にしながら様々な人が気軽に参加できそうなものを選んでいく。そのあたりも加味しながらイベントを企画するとともに参加者への呼びかけのタイミングも検討していただければと考える。どの学年をターゲットにするのか、気候等も踏まえた上で年間スケジュールを把握することも検討していただく必要がある。

会長

現場からの非常に貴重な意見である。イベントを実施するには年間行事予定等をしっかり把握し年間計画を立てることが必要になる。いただいた意見も追加することとする。

イベントのために職員不足となっているのではないか気になっている。職員の労働時間とイベント数の適切なバランスについても検討していただきたい。

イベントの種類について、実施する意義、理由、どんな結果を求めているのか等細かいルールを決めてもいいのではないかと。あわせて、イベントを実施した結果報告ができ、目的がどこまで達成できたかが調査できる仕組みがあるといいのではないかと考える。上記3点をまとめて追加していただきたい。

まとめると、マルチメディアデイジーを実際に利用している障がい者の方の利用割合が分かると良いという点、ブックカバー提供の方法について柔軟性を持たせた上で検討をするという点、イベントの偏りを出来るだけないように配慮する点、マルチメディアデイジーのより使いやすい運用の仕方を検討する点、ボードゲーム等のツールを利用したイベント開催の方法を検討する点、チラシ配布のタイミング等の検討する点を追記していただくこととする。

図書館長  
会長

上記の意見について、追記する。

議題1については、これで終了とする。

続いて、報告1、「第二次多摩市読書活動振興計画」の進捗について、有識者会議に出席したわたくしより報告する。

手元にある資料の内容で進んでいく形となっており、合意が得られているところである。細かい文言修正等はあるが、方向性は変わっていない。気になる点としては、読書活動振興計画

と子どもの読書活動推進計画を一本化したという形で新たな計画が立てられているが、自分自身は賛成の立場ではなかった。有識者会議においても一本化することで計画の内容が歪んでしまわないのかという意見もあった。子どもは子どもの計画として作っていくほうがいいのではないかという懸念もあったが、既に一本化する方向なので今後5年後にはなるが、その際には修正できる点があれば検討すべきとの意見があった。

図書館長 様々な意見を反映し、1年と3ヵ月かけて新たな計画が立てられたとの意見をいただいている。学校図書館についての記載について、不足している点があるとの意見をいただいているのでそのあたりは一本化するにあたって、各年度の計画をしっかりと作りこむ必要があると感じている。

企画運営担当主査1 学校図書館の代表として、小・中学校の校長先生に参加していただいていたが、子どもの読書活動全般という点からすると市内にある高校の校長先生も参加してもいいのではとの意見をいただいた。

次回の計画を検討する際には、そのあたりも検討していきたい。

図書館長 計画は作成して終了ではないので、実際に実行する段階でひとつずつ具体的に進めていけばと考えている。学校図書館の関係も含め、年度毎の計画をしっかりと立てて計画に記載できなかった部分についても結果として出ればいいと考える。

会長 図書館協議会のなかでも学校図書館がどれくらい新しい計画において関与するのか懸念していた。実際に具体的な年度毎の計画が立てられていくと思うが、今の計画の中でご意見があればいただきたい。

図書館長 スケジュールについては、7月に有識者会議を開催し、8月20日に策定委員会を実施した。計画策定の上で上記2つの会議が全て終了した形になる。会議のなかでご意見をいただき、手元にある資料から若干変更がある。修正をさせていただいた計画を9月11日に教育委員会に諮り、決定することになる。決定した計画が10月から開始となり議会等にもご報告をさせていただくことになる。

会長 実際には10月から計画が始まっていくということか。

図書館長 そうなる。10月から4年半という期間となる。次の計画を立てる際は、前倒しとなる。今回の計画検討も1年半ぐらいかかっていたので、それを考えるとやはり令和9年の秋ぐらいか

ら始めることになる。

会長

意見等なければ、報告1についてこれで終了とする。

続いて、報告2、市民協働イベントについて事務局より説明をお願いします。

図書館長

資料3について、令和7年度市民協働イベント募集企画一覧をご覧ください。こちらの内容はすでにホームページにて公表しているものになる。7月1日から31日まで募集をさせていただき、このなかから9月6日の土曜日実施する市民との会議で決定していくことになる。1つ目は、図書館製本体験教室というイベントで20名定員での実施を企画。2つ目がまねっこ図書館～いいところ発見・学校図書館～というイベントで市内の学校図書館を見学して、発見した良い所を「まねっこ発見・提案カード」に記入して、中央図書館等で掲示をしていこうという企画。3つ目が図書館トークということで多摩市長と新聞の役割活用とその未来を語ろうという企画。4つ目は、春休みハワイ語とフラダンス体験という企画。ハワイ語のカードを使いながら身体も動かすというものになる。こちらは前回からの継続した企画となる。5つ目は、ライブラリートークということで、自分が推している多摩市立図書館についてなんでもトークをしようという企画。図書館開館50周年記念イベントで行なった図書館ライブラリートークと同じ趣旨の企画で、こちらも継続した企画となる。6つ目は、夏休みの宿題の相談にのるという企画。こちらは東寺方図書館での実施となる。7つ目は、本とコンサートを楽しもうということでフルート・オカリナ・アイリッシュハーブの演奏を実施する企画。8つ目は、花のちぎり絵ということで、定員10名でカレンダー作りをする企画。9つ目は、多摩図書館プラモデル制作体験ということでプラモデルを作る企画。10つ目は、図書館計画を市民のためのサービスに具体化しよう！という企画。新しい計画ができるので市民への図書館サービスについて、どんな変化があるのか、計画に組み込まれた思いについて図書館長を交えてトークを行なうというものになる。11つ目は、本をデザインすること、わたしたちの手で、まち・社会、未来をつくるということで、制作してきた本等の展示と、多摩市在住の編集者やデザイナーと共に本を作る楽しさや市民活動を通してデザインする喜びについてトークも交えてより多角的に体験できるワークショップを開催したいという企画。応募をいただいた11件のなかから4件

を、選定し、12月から3月までの間の4ヶ月間で月に1回開催をしていく形を想定している。

会長 イベント企画実施決定会議は9月6日に実施されるが、決定の方法にルールはあるのか。

図書館長 まずは、会議内で提案者がプレゼンをし、実施に向けて仲間を集めていただくことになる。賛同する仲間が合計3名になれば企画の実現に向けて一次選定となり、実施期間内で日程希望調査をした上でどの企画が実現可能か市民の方々に検討し、実施を決定する。

会長 市民協働イベントについて質問・ご意見はあるか。

委員 イベント企画実施決定会議に出席するメンバーは決まっているのか。誰でも参加できるものなのか。

図書館長 誰でも参加できる会議になっている。各提案者からのプレゼンを聞いてお手伝い等したいということであれば参加することも可能である。

会長 市民の企画がどのような内容であるのか機会があれば参加していただきたい。どんなふうにしてイベントが決定していくのかも知る機会になる。

図書館長 市民協働イベントについては、昨年も同様なやり方で決定をしている。件数は10件、7・8月に実施した開館1周年記念イベントについても提案していただき、決定したものになる。決定の仕方についても市民とともに検討しながら継続して実施していきたいと考える。

企画運営担当主査1 イベント実施後は振り返り会議をし、結果をもとに次回への改善点に繋げる予定である。

会長 昨年の市民協働企画内容についてはホームページを見ていただければ結果等を確認することができるのでお時間のある時に見ていただきたい。

副会長 誰でも参加できるとなっているが、市民に限っているというわけではなく、外部の参加も可能なのか。

企画運営担当主査1 多摩市に関心がある方であれば外部の方であってもどなたでも参加可能である。

会長 その他、質問・ご意見はあるか。

これからは図書館の場所を利用していろいろなことができると考える。本を読む・勉強する等の知識を得たり、問題解決をする場だけでなく様々な使い方を今後は検討する必要があるのではないか。

- 委員                    コロナ以降、在宅で手芸をやる人が増えている。本を購入すると高いが、図書館に行けば様々な種類の本がある。編み物も今流行っているので、イベント企画してもいいのではないか。  
本を読みに来るといよりは、図書館にまずは入ってもらうということを視点に考えてもいいのではないか。  
図書館がまだまだ堅苦しいところであるというイメージがある。カフェがあると少しイメージが変わる。
- 委員  
図書館長              専門の図書の在庫が少ないように感じる。  
中央図書館は、他の地域館に比べれば揃っているほうであるが、さらなる専門書となると、図書館同士の連携で時間を要するが提供することは可能である。
- 会長                    各図書館の資料構成はそれぞれにあり、多様なニーズに答えるよう苦慮しているところである。学術的な資料はどこまでそろえるかは難しく、大規模の自治体が担う形になっている。  
今後、市民の方には協力便等の仕組みを知ってもらうのもよい。
- 企画運営担  
当主査1                イベントのチラシを机の上に置いている。こちらのイベントは4回目となる。内容は、地域の大学と連携して図書館に興味がある60代以上の方に参加していただき好きな分野の本について互いに話をしていただくものになる。大学生と一緒に図書館の中を回り、自分の興味のある本を借りていただくイベントになる。普段関わることのない年代と関わることで、新しい本との出会いのきっかけになる等参加者からは好評をいただいている。
- 会長                    他にご意見等あるか。なければ、これで令和7年度、多摩市図書館協議会第3回の定例会を終了する。